

地域支援だより

# きらりNet



平成30年7月13日

第84号

秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部

## 自立活動の指導②（院内学級の取組）



今回は、「自立活動」の指導について、院内学級の取組を紹介します。

子どもたちは病院や家庭で、治療のために制約を受けながら過ごしているので、できない（やれない）ことが多く、様々な葛藤を抱えています。そのため、自分の気持ちをコントロールしたり、周りの人に上手に伝えたりすることができずに、自尊感情（自分を価値ある存在としてとらえる気持ち）が低下していることがあります。

◎自尊感情を高めるためには・・・このような場面設定が有効です。

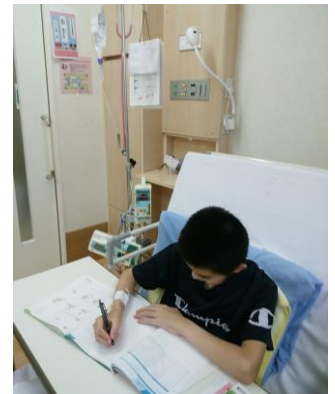
- 自己評価・自己受容～自分を知る、いいところも悪いところもひっくるめて自分を認める。
- 関係の中での自己～人との関わりを通して、役に立つことや周りの人の存在に気付く。
- 自己選択・自己決定～自分で選ぶ、決める機会をできるだけたくさんもつ。

院内学級では、自尊感情を高め、情緒の安定を図るためにこんなことをしています。

- ・体調チェック～もちろん医師や看護師の方たちがしてくれますが、自分で確認して自覚することが大切です。
- ・日程の確認～その日の学習や治療の内容を確認し、一日をどう過ごせばよいのかを知り、楽しみなことを励みにしたり、頑張らなければいけないことに向かう気持ちを高めたりします。
- ・フリートーク～入院生活で困っていることや改善してほしいこと、今の自分の気持ちなどについて、言葉にして伝える機会を設けています。

月 日 ( )	
項目	チェック
身だしなみは整っていますか？	
痛いところはありませんか？	
夜は眠れましたか？	
ごはんは食べましたか？	

チェック表



合わせて、レジリエンス（回復力、復元力）を高めるための指導を大切にしています。



- ↳ 落ち込んでも立ち直る力（失敗したとき、その悪影響を緩和する働きをする）課題をどう解決してかが大事なので、ほめること、認めることで、自分に自信をもち、前向きに考えていけるように支援しています。

インクルーシブ教育システム推進事業 病弱・肢体不自由教育推進事業

## 肢体不自由・病弱教育地区別研修会の御案内

### <県央地区>

8月1日（水） 13：15～15：55

会場：秋田きらり支援学校

【講演】演 題 「医療から見た肢体不自由・病弱教育」

講 師 県立医療療育センター センター長 坂本 仁 氏

各地区ともグループ協議を予定していますので、是非御参加ください。

### <県南地区>

8月6日（月） 9：50～11：55

会場：横手市交流センターY<sup>2</sup>（わいわい）プラザ

### <県北地区>

8月8日（水） 13：00～15：05

会場：北秋田市民ふれあいプラザコムコム

【講話】

テーマ 「肢体不自由・病弱教育における授業づくり」

講 師 秋田きらり支援学校  
教育専門監 二階堂 悟 氏

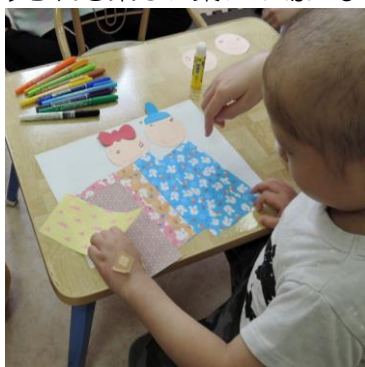
# 中通総合病院内幼児教室「きらり☆ひろば」の活動

幼児教室『きらり☆ひろば』は、今年2年目となりました。

社会医療法人明和会中通総合病院の小児科に入院している幼児を対象に、月3回（水曜日午前中）訪問し活動しています。長期入院幼児と小児科病棟内のプレイルームでの活動が主となりますが、その他に短期入院幼児への病室訪問も行っています。

幼児教室の目的は、早期支援と保護者に対する相談機会の提供です。子どもの発達や学びの時期に、長期の病気治療や入院生活が重なることは、その後の心身の成長や社会生活に影響を与えます。そのため、意図的に関わりの場面を作ったり、集団活動の場を設けたりして社会性を育むことができるように遊びの場を提供し支援しています。また、保護者との面談機会を設け、様々な相談にのったり、退院後の生活等に向けた情報交換を行ったりして、センター的機能の役割の充実を目指しています。

活動内容は、「絵本などの読み聞かせ」「手遊びなどの音楽的活動」「簡単な制作活動」「集団での遊び」等です。病棟保育士と連携しながら活動しています。子どもたちはもちろん、一緒に活動する保護者の皆さんの笑顔がたくさんみられる楽しい集いの場になるように取り組んでいます。



## 教育専門監のコーナー

### 【日常生活と集団活動を保障】

子どもたちにとって、家族と過ごす時間は日常生活の中心を占めるものです。入院中も入院前と同じように、家族や友達、先生と一緒に学び遊ぶ時間は、「病気になっても変わらない自分」を感じることに繋がります。

子ども同士が関わることで得られる感情や体験の中で、自分の言動を調整する力や、集団におけるルールを学習するなど、将来の集団生活に求められる力の獲得の機会として重要な役割を担っています。

### 【表現活動で楽しさと体験を共有】

治療の場面を離れ、家族や友達、先生とともに過ごす時間は、気持ちが解放されやすく、様々な表現活動の中で、ひとりでは言葉にすることが難しい楽しさや希望が表現されやすくなります。その表現を共有してくれる周囲の存在は、あるがままの自分を認める気持ちや、周囲を信頼する気持ちを育てていく上で大切な役割をもっています。

「入院中、楽しいこともたくさんあった」と思い出してもらえるように、『きらり☆ひろば』が、少しでも子どもたちの心の支えとなるように、子どもたちと一緒に歩んでいます。

〈文責：二階堂 悟〉

## 自立活動研修会の御案内

8月21日（火） 10:00～11:30

（受付 9:30～）

会場：秋田きらり支援学校 大会議室

内容「児童生徒の視機能の実態把握と見やすい環境づくり」

（講話・演習）

講師：秋田県立視覚支援学校

視能訓練士 田中 敦子 氏

※参加希望の方は、本校ホームページから参加申込書をダウンロードし、FAXにてお申し込みください。

締切は8月3日ですので、よろしくお願ひします。



◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部主任 佐藤 忠浩

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>